

条例による様式  
第1号様式(第8条関係)

令和 5年 4月 3日

東員町議会議長  
山本 陽一郎 様

東員町議会議員 水谷 喜和

令和4年度政務活動費に係る収支報告について

東員町議会政務調査費の交付に関する条例第8条第1項(第2項)規定  
により、別紙のとおり令和4年度政務調査費収支報告書を提出します。



令和4年度 政務活動費収支報告書

議員名 水谷喜和

1 収入 政務活動費 120,000円

2 支出 (単位:円)

科目	支出額	備考
調査研究費	97,237	ふるさと回帰センター、うしかい田んぼアート、益城町役場
研修費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	52,800	新聞購読料、
広報費	0	
事務費	0	
合計	150,037	

3 残額  
0円

## 領収書等添付一覧(令和4年度)

使途項目等	調査研究費		
年 月 日	支 出 内 容	支 出 (円)	整 理 番 号
4月19~20日	ふるさと回帰センター、衆議院会館	31,900	1
8月19日	うしかい田んぼアート実行委員会他	2,653	2
11月1~2日	益城町役場他	62,684	3
合 計		97,237	

支出にかかる領収書の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、領収書等貼付用紙の表紙として

# 活動旅費明細書

議員名 水谷喜和

研修事項 少子高齢化への対応策研修  
東員一中移転事業への財政支援要請

目的地 NPO法人「ふるさと回帰センター」  
衆議院会館 中川康洋、石原正敬議員事務所

期間 令和4年4月19日～20日

(1) 交通費 パック料金 円 パック料金 29,500円

(交通費内訳)

日程	区 間	交通手段	交通費
4月19・20日	新大仲新田 名古屋バスターミナル 往・復	高速バス	2,400 円
4月19・20日	名古屋駅 ～ 東京駅 往・復	新幹線	29,500 円
			円
			円
	合 計		31,900 円

(2) 宿泊費 パック料金 円

(宿泊費内訳) 1泊 (別途領収書)

(実費の上限 14,800円)

合 計 31,900 円      パック料金+2,400円

参考

準用する。(日当は含めない)

(平成17年8月9日議運決定)



## 活動旅費明細書

議員名 水谷 喜和

研修事項 田んぼアート

目的地 滋賀県甲賀市 うしかい田んぼアート実行委員会  
滋賀県長浜市 虎姫地域づくり協議会

期間 令和4年8月19日

(1) 交通費 2,653 円

(交通費内訳)

日程	区 間	交通手段	交通費
8月19日	新名神 東員 ~ 新名神 信楽	レンタカー	別途記載
	信楽鉄道 信楽 ~ 信楽鉄道 貴生川	鉄道	別途記載
	新名神 信楽 ~ 北陸自動車道 長浜	レンタカー	別途記載
	長浜市 ~ 東員町	レンタカー	別途記載
	合 計		

(2) 宿泊費 円

(宿泊費内訳)

(実費の上限 14,800円)

合 計 2,653 円

参考

準用する。(日当は含めない)

(平成17年8月9日議運決定)

# 領収書等貼付用紙

使途項目	調査研究費
整理番号	2

領収書・その他証拠書類貼付欄 (支出令和4年8月19日)

コード

## 領 収 書

№ 000229

水谷 様

4 年 8 月 19 日

金額			百万		千		円
						7	6600

収入印紙

内 訳	現金	
	クレカ	
	PayPay	
	振込	
	小切手	
	相殺	

上記正に領収致しました

但 車輛代 \_\_\_\_\_  
 修理代 \_\_\_\_\_  
 部品代 \_\_\_\_\_  
 1270-

### スズキ販売いなべ

三重県員弁郡東員町鳥取183-1  
 〒511-0241 電話(0594)76-7755(代)

### 株式会社 サンジキモータース

三重県いなべ市藤原町本郷806  
 〒511-0523 電話(0594)46-2061(代)



金額を訂正したもの及び社印のないものは無効

有料料金 新名神高速道路 信楽鉄道 新名神高速道路 レンタカー代利用料 燃料	東員 信楽 信楽 信楽 (株)サンギモータース	~ ~ ~ ~ 15.49L	新名神高速道路 信楽鉄道 北陸自動車道 (株)サンギモータース	信楽 貴生川 長浜 計	1,670 2,820 2,430 6,600 2,401 15,921
使 途	レンタカー利用代金、燃料代、有料道路料金				
按分率等 (按分の支出の場合)	南部、大谷、川瀬、片松、伊藤、水谷				
	一人当たりの経費 2,653 円				

# ENEOS ジェイクエスト

## 納品書(領収書)

営業時間 6:00~24:00  
洗車受付 6:00~23:45  
2022年08月19日 17:56

売上

Tカード会員 様

現金会員

車両番号 実車番

0110-00

レギュラー

15.49L

P-02

\*

¥2,401

155円

合計

¥2,401

(消費税10%対象

¥2,401

内消費税等

¥218)

お預り

¥3,001

お釣り

¥600

Tカード番号: [REDACTED]

ポイント: 基本P [REDACTED] 7P

特別P 0P

今回計 7P

利用ポイント 0P

利用可能ポイント [REDACTED] P

本日付与されたポイントは2~3日  
目以降に反映されます。有効期限切  
等の理由で、Tカードにポイントが  
加算されないことがあります。

詳細は[www.tsita.jp](http://www.tsita.jp)にてご確認下  
さい。

株式会社ENEOSジェイクエスト

ENEOSジェイクエスト桑名店

三重県 桑名市

大字大仲新田181-1

TEL:0594-33-3915 SS-101718

レシートNo 4690-18 データNo6505-6507

020020

2022/08/19



## 活動旅費明細書

議員名 水谷喜和

研修事項 地下水膜ろ過システム視察  
災害によるライフラインの復旧について

目的地 一般社団法人 杏仁会 くまもと青明病院  
益城町役場

期間 令和4年11月1日～2日

(1) 交通費 48,414 円

(交通費内訳)

日程	区 間	交通手段	交通費
	新大仲新田 名古屋バスターミナル 往・復	高速バス	2,400 円
1日・2日	名古屋駅 ～ 熊本駅 往・復	新幹線	42,840 円
1日・2日	熊本駅 ～ くまもと青明病院	タクシー	583 円
1日・2日	くまもと青明病院 ～ 宿泊ホテル	タクシー	450 円
2日	宿泊ホテル ～ 益城町役場	レンタカー	1,611 円
2日	益城町役場 ～ 熊本駅	レンタカー	
			円
			円
			円
	合 計		47,884 円

(2) 宿泊費 14,800 円

(宿泊費内訳) 15,900 × 1泊 (別途領収書)

(実費の上限 14,800円)

合 計 62,684 円

参考

準用する。(日当は含めない)

(平成17年8月9日議運決定)

参考形式 1

# 領収書等貼付用紙

使途項目	調査研究費
整理番号	3

領収書・その他証拠書類貼付欄 (支出令和4年1月1日～2日)

領 収 証

トヨ喜和

様

No. 123

★ 15,900 -

但 熊本研修宿泊代(7/1)

2022 年 10 月 14 日 上記正に領収いたしました

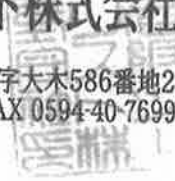
収 入
印 紙

内訳

税抜金額 \_\_\_\_\_

消費税額 \_\_\_\_\_

**名阪ツーリスト株式会社**  
〒511-0244  
三重県員弁郡東員町大字大木586番地2  
TEL 0594-40-7125 FAX 0594-40-7699



使 途	宿泊代
按分率等 (按分の支出の場合)	タクシー代(熊本駅～くまもと青明病院) 3,500円 ÷ 6 = 583円 タクシー代(くまもと青明病院～宿泊ホテル) 2,700 ÷ 6 = 450円 レンタカー代 9,671 ÷ 6 = 1,611円 研修参加者6名 片松、大谷、三林、川瀬、三宅、水谷

## 領収書等添付一覧(令和4年度)

使途項目等	資料購入費		
年月日	支出内容	支出(円)	整理番号
4月30日	中日新聞購読料(4月分)	4,400	1
5月31日	中日新聞購読料(5月分)	4,400	2
6月29日	中日新聞購読料(6月分)	4,400	3
7月31日	中日新聞購読料(7月分)	4,400	4
8月31日	中日新聞購読料(8月分)	4,400	5
9月30日	中日新聞購読料(9月分)	4,400	6
10月31日	中日新聞購読料(10月分)	4,400	7
11月30日	中日新聞購読料(11月分)	4,400	8
12月27日	中日新聞購読料(12月分)	4,400	9
1月29日	中日新聞購読料(1月分)	4,400	10
2月27日	中日新聞購読料(2月分)	4,400	11
3月28日	中日新聞購読料(3月分)	4,400	12
合計		52,800	

支出にかかる領収書の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、領収書等貼付用紙の表紙として活用してください。

# 領収書等貼付用紙

使途項目	資料購入費
整理番号	1~12

## 領収証

鳥取 910

水谷喜和 様

銘柄 (*は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*中日新聞	1	4,400	

2022年 4月分

お問合せNo. 31986

(3100) 94.00集金

(8% 4,400円)

(10% 0円)

合計金額  
**4,400** 円

取り扱い新聞 (日本経済, 中部経済, 工業, 産業, 流通, 英字, 釣ニュース, その他)

中日新聞  
西条名ネオポリス専売店  
東員町笹尾西2丁目3-1-15  
TEL 0594-76-3335  
FAX 0594-76-9613  
フリーダイヤル 0120-059476



## 領収証

鳥取 910

水谷喜和 様

銘柄 (*は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*中日新聞	1	4,400	

2022年 5月分

お問合せNo. 31986

(3100) 94.00集金

(8% 4,400円)

(10% 0円)

合計金額  
**4,400** 円

取り扱い新聞 (日本経済, 中部経済, 工業, 産業, 流通, 英字, 釣ニュース, その他)

中日新聞  
西条名ネオポリス専売店  
東員町笹尾西2丁目3-1-15  
TEL 0594-76-3335  
FAX 0594-76-9613  
フリーダイヤル 0120-059476



使

## 領収証

鳥取 910

按分率  
(按分の支出)

水谷喜和 様

銘柄 (*は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*中日新聞	1	4,400	

2022年 6月分

お問合せNo. 31986

(3100) 94.00集金

(8% 4,400円)

(10% 0円)

合計金額  
**4,400** 円

取り扱い新聞 (日本経済, 中部経済, 工業, 産業, 流通, 英字, 釣ニュース, その他)

中日新聞  
西条名ネオポリス専売店  
東員町笹尾西2丁目3-1-15  
TEL 0594-76-3335  
FAX 0594-76-9613  
フリーダイヤル 0120-059476



領収証

鳥取 910

2022年 7月分

お問合せNo. 31986

(3100) 94.00集金

(8% 4,400円)

(10% 0円)

水谷喜和 様

品名 (※注税減税率対象)	部数	金額	備考
*中日新聞	1	4,400	

合計金額  
4,400 円

取り扱い新聞 (日本経済、中部経済、工業、産業、流通、英字、釣ニュース、その他)

中日新聞  
西桑名ネオポリス専売店  
東員町笹尾西2丁目3-1-15  
TEL 0594-76-3335  
FAX 0594-76-9613  
フリーダイヤル 0120-059476



4

領収証

鳥取 910

2022年 8月分

お問合せNo. 31986

(3100) 94.00集金

(8% 4,400円)

(10% 0円)

水谷喜和 様

品名 (※注税減税率対象)	部数	金額	備考
*中日新聞	1	4,400	

合計金額  
4,400 円

取り扱い新聞 (日本経済、中部経済、工業、産業、流通、英字、釣ニュース、その他)

中日新聞  
西桑名ネオポリス専売店  
東員町笹尾西2丁目3-1-15  
TEL 0594-76-3335  
FAX 0594-76-9613  
フリーダイヤル 0120-059476



5

領収証

鳥取 910

2022年 9月分

お問合せNo. 31986

(3100) 94.00集金

(8% 4,400円)

(10% 0円)

水谷喜和 様

品名 (※注税減税率対象)	部数	金額	備考
*中日新聞	1	4,400	

合計金額  
4,400 円

電子版の利用方法  
会員登録がお済みでない方はこちらから

中日新聞 プラス

携帯電話番号の二次コードより、会員登録をしてください。

中日プラス 登録

\*会員は中日新聞の購読者に限りです。

※中日新聞 電子版の  
利用には会員登録が  
必須です。



中日新聞  
西桑名ネオポリス専売店  
東員町笹尾西2丁目3-1-15  
TEL 0594-76-3335  
FAX 0594-76-9613  
フリーダイヤル 0120-059476



6

領収証

鳥取 910

2022年10月分

お問合せNo. 31986  
 (3100) 94.00集金  
 (8% 4,400円)  
 (10% 0円)

水谷喜和様

品名(※は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*中日新聞	1	4,400	

合計金額  
**4,400** 円

7

電子版の利用方法

会員登録が必要でない方はこちらから

中日新聞 プラス

請求書または名記の二次元コードより、会員登録をしてください。

中日プラス 登録

※会員は中日新聞の購読者に限ります。

※中日新聞 電子版の閲覧には会員登録が必要です。



中日新聞  
 西条名ネオポリス専売店  
 東員町笹尾西2丁目311-1  
 TEL 0594-76-3335  
 FAX 0594-76-9613  
 フリーダイヤル 0120-059476



領収証

鳥取 910

2022年11月分

お問合せNo. 31986  
 (3100) 94.00集金  
 (8% 4,400円)  
 (10% 0円)

水谷喜和様

品名(※は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*中日新聞	1	4,400	

合計金額  
**4,400** 円

8

電子版の利用方法

会員登録が必要でない方はこちらから

中日新聞 プラス

請求書または名記の二次元コードより、会員登録をしてください。

中日プラス 登録

※会員は中日新聞の購読者に限ります。

※中日新聞 電子版の閲覧には会員登録が必要です。



中日新聞  
 西条名ネオポリス専売店  
 東員町笹尾西2丁目311-1  
 TEL 0594-76-3335  
 FAX 0594-76-9613  
 フリーダイヤル 0120-059476



領収証

鳥取 910

2022年12月分

お問合せNo. 31986  
 (3100) 94.00集金  
 (8%対象 4,400 税 325)  
 (10%対象 0 税 0)

水谷喜和様

品名(※は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*中日新聞	1	4,400	

合計金額  
**4,400** 円

9

電子版の利用方法

会員登録が必要でない方はこちらから

中日新聞 プラス

請求書または名記の二次元コードより、会員登録をしてください。

中日プラス 登録

※会員は中日新聞の購読者に限ります。

※中日新聞 電子版の閲覧には会員登録が必要です。



中日新聞  
 西条名ネオポリス専売店  
 東員町笹尾西2丁目311-1  
 TEL 0594-76-3335  
 FAX 0594-76-9613  
 フリーダイヤル 0120-059476



鳥取 領収証 910

水谷 喜和 様

銘柄名(※は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*中日新聞	1	4,400	

2023年 1月分  
 お問合せNo. 31986  
 (3100) 94.00集金  
 (8%対象 4,400 税 325)  
 (10%対象 0 税 0)  
 合計金額  
**4,400** 円

中日新聞  
 西条名ネオポリス専売店  
 東員町笹尾西2丁目31-15  
 TEL 0594-76-3335  
 FAX 0594-76-9613  
 フリーダイヤル 0120-059476

鳥取 領収証 910

水谷 喜和 様

銘柄名(※は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*中日新聞	1	4,400	

2023年 2月分  
 お問合せNo. 31986  
 (3100) 94.00集金  
 (8%対象 4,400 税 325)  
 (10%対象 0 税 0)  
 合計金額  
**4,400** 円

電子版の利用方法  
 会員登録がお済みでない方はこちらから  
 + 中日新聞 プラス  
 検索または右記の二次元コードより、  
 会員登録してください。  
 中日プラス 登録



中日新聞  
 西条名ネオポリス専売店  
 東員町笹尾西2丁目31-15  
 TEL 0594-76-3335  
 FAX 0594-76-9613  
 フリーダイヤル 0120-059476

鳥取 領収証 910

水谷 喜和 様

銘柄名(※は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*中日新聞	1	4,400	

2023年 3月分  
 お問合せNo. 31986  
 (3100) 94.00集金  
 (8%対象 4,400 税 325)  
 (10%対象 0 税 0)  
 合計金額  
**4,400** 円

電子版の利用方法  
 会員登録がお済みでない方はこちらから  
 + 中日新聞 プラス  
 検索または右記の二次元コードより、  
 会員登録してください。  
 中日プラス 登録



中日新聞  
 西条名ネオポリス専売店  
 東員町笹尾西2丁目31-15  
 TEL 0594-76-3335  
 FAX 0594-76-9613  
 フリーダイヤル 0120-059476

## 調査研究報告書

調査日 令和4年4月19日(火)～20日(水)

東京都千代田区有楽町2-10-11  
NPO 法人ふるさと回帰支援センター

東京都千代田区 衆議院議員会館

### 参加議員

三宅 耕三      三林 浩      片松 雅弘      川瀬 孝代  
大谷 勝治      広田久雄      水谷 喜和

### 調査目的 (研修目的)

少子高齢化で近い将来、当町に於いても人口減少は待ったなし。  
その対応策の一環として、「ふるさと回帰センター」との連携を模索する。

東員町立東員第一中学校移転整備に財政支援を地元選出議員に要望する。

### 4月19日午後 研修

NPO 法人ふるさと回帰支援センター

理事長 高橋 公      事務局長 江森 孝至      三重県地域連携部 東口 大輝

ふるさと暮らしを希望する生活者の増加という時代の要請を受け、2002年11月、全国の消費者団体、労働団体、農林漁業団体、経営団体、民間団体や有志などが一堂に集いNPO法人「ふるさと回帰支援センター」を設立。

### 主な業務内容

- ・ 地方移住希望者への相談業務、会員自治体の移住情報発信業務、
- ・ 各種田舎暮らし・移住セミナーの開催、(2020年:移住セミナー、相談会 349回)



- ・情報誌「100万人のふるさと」の発行（年4回）
- ・「都市と農村漁村の交流・移住実務者研修セミナー」2006年より毎年開催
- ・各省庁、全国の自治体、団体・大学などからの受託事業

#### 設立参加団体

日本労働組合総連合、全国農業協同組合連合会中央会大地を守る会、全国農業会議所、日本生活協同組合連合会生活クラブ生協、損保ジャパン（株）、（株）全農ビジネスサポート、日本経済団体連合会

#### 後援団体

全国知事会、全国都道府県議長会、全国市長会、全国市議議長会、全国町村会、全国町村議会議長会、財団法人都市農村漁村交流活性化機構、財団法人地域活性化センター

#### 協賛会員

全国農業協同組合連合会（JA全農）、全国共済農業協同組合連合会（JA共済）、農林中央金庫、全国厚生農業協同組合連合会（JA全厚連）、（株）家の光協会、（株）農協観光、（株）日本農業新聞、（社）全国労働金庫協会、全国商工会連合

※ 帰町後、東員町として「ふるさと回帰センターへの会員登録」をすることについて、研修参加議員と政策課の懇談。その旨、強く伝える。

- ・後日「ふるさと回帰センターへの会員登録」を町として加入登録したとの報告を受ける。

#### 4月19日午後

##### 衆議院議員会館

中川 康洋 衆議院議員 石原正敬 衆議院議員を訪問し、要望書を提出

。

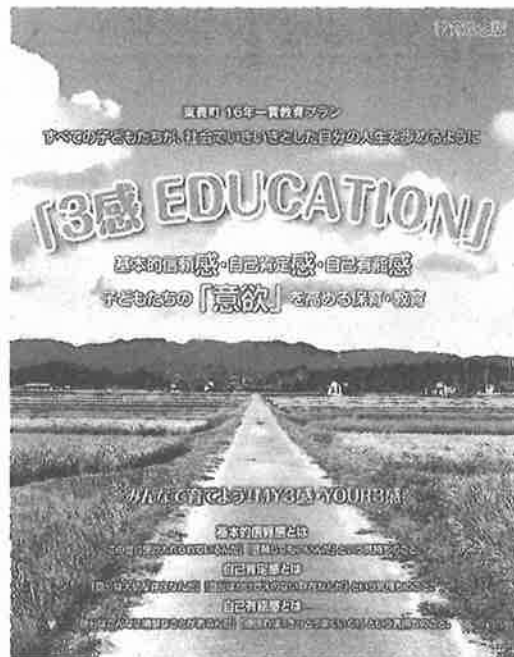
東員町立東員第一中学校移転整備に財政支援を

要望書写し添付

# 要 望 書

東員町立東員第一中学校

移転整備に財政支援を



東員町教育委員会

東員町教育委員会

## 要 望 書

東員町では建築から60年近く経過している東員第一中学校移転整備に着手しております。同校は建設当時桑名市との組合立であったことから桑名市と隣接する町の東端に建設されております。そのため、通学距離の不均衡、生徒の安全性確保の面からも町の中心部への移転が町民の悲願でありました。

東員町教育委員会では、今回の中学校移転事業を単なる校舎建築と考えるのではなく、今後100年の東員町の教育を進める礎となるよう、建設場所を東員町役場周辺地区に選定しました。そして、そのことから可能になる、隣接する各種公共施設群との相互活用と新たな学びの実施を企図しております。

すなわち、

- (1) 町の公共施設群と新中学校施設の相互活用を推進しインフラ設備の効率化を図る
- (2) 町の今後の児童・生徒数の変化に対応出来る学校配置のキックオフ事業として位置づける
- (3) 東員町の教育が目指す「自己実現と社会の発展に貢献できる力 (Agency)」の育成を図るために、東員町の行政・福祉・議会・産業・農業等を体験的に学習し、地方自治を主体的に担う地域人としての自覚を育てる教育を推進する

上記3点を基本方針にあげて移転整備を進めております。

しかしながら、中学校を移転するためには多額の費用を要することは申し上げるまでもありません。補助の対象になります学校施設環境改善交付金等は全体事業費の1割にも満たない状況で、逼迫する町財政には大変厳しいものがあります。補助対象及び補助率の引き上げと何らかの補助金の活用をご教示いただきたくお願い申し上げます。

本町の財政状況をご高察いただき格別なるご配慮を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、ご参考までに資料を添付させていただいておりますので、よろしくお願い申し上げます。

令和4年4月20日

東員町教育委員会

教 育 長

岡 野 讓 治

往訪持参

東員町議会

議 長

三 宅 耕 三

副 議 長

三 林 浩

教育民生常任委員長

川 瀬 孝 代

広報広聴常任委員長

広 田 久 男

議 員

水 谷 喜 和

議 員

大 谷 勝 治

議 員

片 松 雅 弘

# 「持続可能な保育・教育を進めるために」

## 一 東員町16年一貫教育プラン 10年目の挑戦 一

2022. 4. 1

三重県東員町 教育長 岡野譲治

### I はじめに

本町は三重県の北部に位置し、町の中央を員弁川が東流し、北部にゆくにつれて標高100m前後のゆるやかな丘陵を形成しています。東・北は桑名市、西はいなべ市、南は四日市市に隣接し、人口25,892人（3月1日現在）の都市近郊農村です。平成の大合併では、近隣の市町（いなべ市・桑名市）との合併はなく単独町として現在に至っています。町内には、幼保6園、小学校6校、中学校2校があります。

特徴的なこととしては、幼稚園・保育園は一体型施設として小学校区毎にあり、幼保小中は教育委員会が所管しています。現在3,109名（4月1日現在）の園児・児童・生徒が学んでいます。

また、東海4県には160自治体がありますが、15歳未満の人口が2011年に比べ増加している自治体は13自治体しかありません。東員町はその中の一つに入っていて、2011年に比べ3.4%年少人口が増えています。今後も「子育ての町」「教育の町」を標榜し、町全体で知恵を出して積極的に取り組んでいきたいと考えております。

### II 東員町の教育

東員町を目指している教育は「社会で生き生きと自分の人生を歩める子ども達の育成」です。

10年前、このような力を育てる為にどうすれば良いかを、町の幼保小中の管理職、先生方と一年をかけ協議・検討し、この16年一貫教育プランを策定しました。そこで出合ったのが、佐々木正美先生の「子どもへのまなざし」であり、エリクソンの社会性の発達理論でした。その中で佐々木先生は「今の日本人は残念ながら、健全な個人主義を通り越してあまりにも自己中心的になってしまっているのではないかと」警鐘を鳴らしていました。そのことも踏まえ、人格を含めた総合的な人間力向上を目指さなければならないと考え実践を進めております。

#### 1 東員町のエデュケーション目標・理念

##### (1) エデュケーション目標

「確かな学力と豊かな人間性をもとに社会に参画する力（自己実現と社会の発展に貢献する力）の育成」

##### (2) エデュケーション理念

「東員町の保育・教育という船に乗った子ども達を誰一人落ちこぼさない」

##### (3) エデュケーション方法

「教育委員会と幼保小中現場が一体となり幼保小中の連携を強化し目的を達成する」

### 2 3つの方向性

現在進めている東員町の教育行政は大きく3つの方向性を持っています。一つ目は16年一貫教育プランに基づいたものであり、二つ目は文化力の向上（地域に愛着と誇りを）であり、三つ目は、東員第一中学校移転事業とAgency（社会を変革する力）の育成です。

中核となる16年一貫教育プランは、平成25年度から始まり10年目に入っています。

#### (1) 16年一貫教育プランの推進

エリクソンの発達理論をもとに社会性の各発達課題を明確にし、母体から15歳までの教育プランの実践を進めています。

#### (2) 文化力の向上（地域に愛着と誇りを）

東員町の歴史・特色ある文化に触れ地域に愛着と誇りを持ち、地域で自己実現を図るとともに地域に貢献することを喜びとする人材育成を目指しています。

#### (3) 東員第一中学校移転事業

町の中心地へ移転することで、①学校再編のスタートとしての位置づけ②Agency（社会を変革する力）を育成するため、東員町の行政・福祉・議会・商工業等を体験的に学習し、地方自治を主体的に担う地域人としての自覚・責任・能力を育てます。

### III-1 東員町16年一貫教育プラン

#### 1 なぜ16年一貫プランなのか

##### (1) 社会情勢の変化

- ①子どもが生育する環境の急激な変化【都市化のマイナス面（地域破壊、家庭崩壊等の進行）】が進むことの予測
- ②乳幼児期の保育・教育の責任を家庭にすべて任せる時代が変化したという認識。社会の責任で子育てを担う必要性が生まれてきているという認識。

## (2) 子どもの発達課題

①人を信じる力の欠如

\*基本的信頼感\*自己肯定感\*自己有能感を育てる必要性。

②たくましさ、鈍感さ、傷つきにくさがあった子ども達の変化。

③子どもたちがそれぞれの発達課題を乗り越えられないで大人になっていくことで、社会生活上の不適応が起こっているのではないかという認識。

## (3) 一貫プランの目指すもの

①それぞれの発達課題を乗り越える体験を積み社会性を獲得する。 【子ども】

②学び・育ちの連続性を意識しトータルで子どもの育ちを見ていく。そして、現場の保育者・教職員が確かな理論を持ち効果的な保育・教育を進める。

【保育者・教職員】

③最近の脳科学・発達心理学の知見を活用し子どもたちの発達を保障する。 【保育者・保護者・教職員】

④保護者・地域に確かな子育て情報を発信し子育ての方向性を確認する。 【保護者・地域】

東員町では、幼保小中が教育委員会所管であるということを通しと考へ、子ども家庭課等と協働で子育て支援を進めていくことを考えております。

その中で、育児のキーワードとして6つの言葉をかかげ保護者の皆さんに情報を発信しております。

- 1 「よくぞ生まれてきたと言う気持ちを持って」
- 2 「自分を好きになれる子どもを育てる」
- 3 「子どもが育つには順序がある」
- 4 「乳児期は子どもが望んだように愛する」
- 5 「多くの人から愛されて育つ」
- 6 「『ありがとう』『ごめんなさい』が言える子に」

## 2 東員町16年一貫教育プランとは

### (1) マイナス1歳から15歳まで

- ①社会で生き生きと自分の人生を歩めるように
- ②母体にいるときから中学校卒業するまで
- ③3感を育てる

「基本的信頼感：自他を信じる感情」

「自己肯定感：自分は大切な存在なんだ」

「自己有能感：がんばれば、私にもできる」

この3感育成は根気のいるものであります。教えてすぐに身に付くものではありません。子どもたちが繰り返し家庭・地域・保育園・学校の日常生活の中で実感し、心の中に沁みこんでいくものであるからです。

エリクソンは「子どもの発達には順序がある」と述べています。例えば子どもが歩くようになるには①首が据わる②寝返りが出来る③お座りができる④はいはいができる⑤つかまり立ちが出来る。という順序です。

それと同じように人間の社会性の発達にも順序があるということであります。

## (2) エリクソンの発達理論 (各時期別発達課題)

胎児期：母親の安定(心身)

乳児期：基本的信頼感

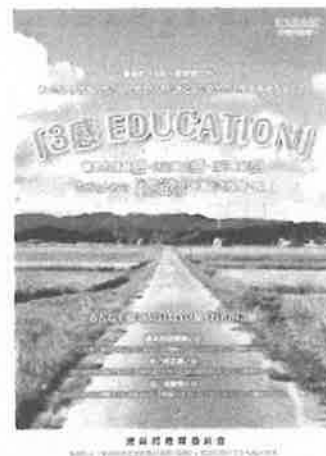
幼児前期：自律性

幼児後期：自主性

児童期：勤勉性

青年期：自我同一性(アイデンティティーの確立)

## (3) 理論版と実践版



(理論版)

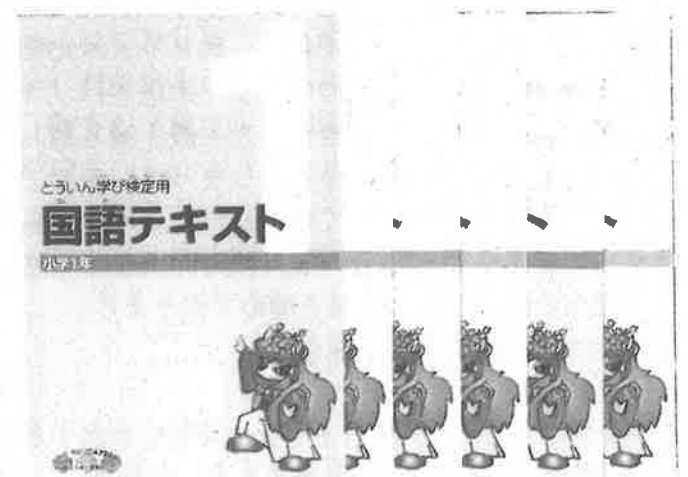


(実践版)

## 3 具体的実践

### (1) 確かな学力

#### ①東員学び検定への挑戦



②地域の人も挑戦

②学校図書館の整備（図書館専門員配置）



③自分で作る弁当の日

③授業改善（中学校の取組）



(3) 健やかな体

- ①東員縄跳び検定
- ②地域ボランティアの人に数えていただく。



(2) 豊かな心 ①読書登山

③幼保運動プログラム



- (4) 途切れない支援（発達支援室）
- (5) 16年のその先へ（ぼくの夢、私の未来）
- ①高校との連携

## (6) キャリア教育ファイル

- ①幼保小中それぞれの発達段階で、自分の夢・将来を考える機会の確保。
- ②記録資料として、ファイリングしておく。



## (7) 保護者と共に

- ①町P連合会・各単Pで説明
- ②各園校PTAで学習会
- ③小中の教員が幼保園保護者に説明会

## Ⅲ-2 文化力の向上(地域に愛着と誇りを)

東員町も今後少子高齢化が進行する予測があります。「若者世代を呼び込む町」にするために、教育として「子どもの頃から地域に愛着と関心を持ち地域で自己実現を図ることを喜びとする人を一人でも多く育てる事」が課題であるとも考えています。そのために、地域文化に触れる取り組みとまちづくりに関心を持つ取り組みを進めています。基本としていることは「地域に愛着を子どもたちに求めるのではなく、子どもたちが親・学校・地域から愛情を与えられる事からこのような気持ちが育つ」という事であります。

### 1 歴史と文化の町作り

#### (1) 「員弁」1300年を迎えて

「員弁郡」は、古くは「猪名部」や「稻部」とも書かれていました。645年に有名な「大化の改新」が始まり、国や郡が制定され、本郡を「猪名部」と称しました。「員弁」に表記が改められたのは奈良時代、和銅6年(713年)のことです。この年、行政地名の表記の改正(好字二字令)が全国に命じられ「猪名部」が「員弁」と改められました。2013年は、713年から数えて1300年を迎え、町全体で各種行事に取り組みました。



- ①歌舞伎
- ②員弁物語
- ③石垣定哉展
- ④ミュージカル
- ⑤文化祭
- ⑥第九
- ⑦創花展
- ⑧町民運動会

#### (2) 子ども歌舞伎

7世松本幸四郎丈は、東員町長深で生まれ、本名秦豊吉と言います。藤間家の養子となり、歌舞伎の世界に入りました。勸進帳で弁慶を演じては、彼の右に出る者はいないと言われました。7世松本幸四郎丈のもう一つのすごさは素晴らしい子宝に恵まれたことです。長男は11代目市川團十郎、次男は8代目松本幸四郎、三男は2代目尾上松緑、松たか子の曾祖父でもあります。東員町は歌舞伎俳優7世松本幸四郎丈の生誕の地として有名でありその功績を顕彰して、平成7年から子ども歌舞伎を毎年公演しています。本年度25回記念公演を実施しております。





### (3) 東員で日本の第九を歌う会



### (4) 新しい文化の創造

①住民参加型ミュージカル

\*北勢線存続「ナローはつづくよどこまでも」



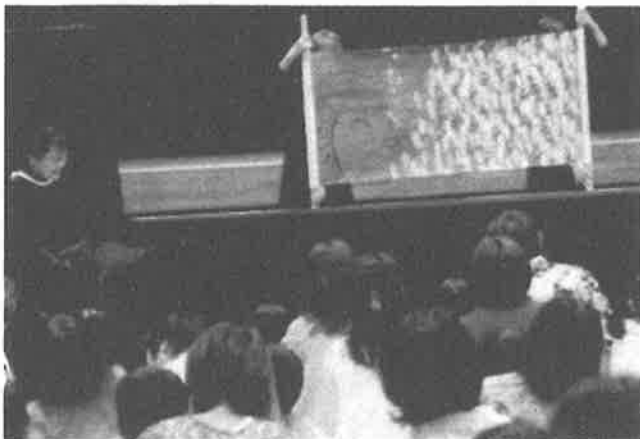
## 2 社会教育基盤の充実

### (1) 「朗読ひばりの会」の活動

①毎週各園・校で読み聞かせ

②月2回 町図書館で読み聞かせ会

③年1回 福祉センター大ホールで発表会



ロール絵本「フィアボ」

### (2) 子どもカレッジ (ロボット作り)

①高校生から学ぶロボット作り

②小学校・中学校出前授業



### (3) 文化協会活動 (子ども東員飛龍太鼓)



### (4) フレンドリークラブ (総合型スポーツ)



### (5) 青少年育成町民会議 青少年の主張



## 3 子どもの権利条例制定

(1) 平成25年度から2年間検討協議

(2) 大人委員会・子ども委員会組織

### Ⅲ-3 東員第一中学校移転事業

#### 1 16年一貫教育の理念と目標

三重県員弁郡東員町は、名古屋市・桑名市・四日市市などの産業地にほど近い、自然環境豊かな内陸部に位置する町である。居住や通勤に適し、質の高い子育てができる町を実現することにより、人口・税収の維持、高齢者比率の極端な増大の防止、地域文化のさらなる振興などを図る戦略をとっている。その最重要の項目が、妊娠時-1歳から中学校卒業の15歳までをカバーする「16年一貫教育」である。社会に対する「基本的信頼感」、自分に対する「自己肯定感」、将来への「自己有能感」の「3感」を育て、その基盤の上で「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の「生きる力」を目標として、統合的な教育を行っている。

その実質を担う、子育て支援センター、幼保育園、小学校、中学校はすべて町立であり、上記のコンセプトを軸として強くまとまり、教育委員会のもとで一体的、相互的な運営を行っている。

#### 2 学校施設整備の基本方針

- (1) 町内各小・中学校相互及び公共施設群との統合性を強化する
- (2) 町内の交通網・人口分布に対応した有機的な学校配置へと転換する
- (3) 学びのきっかけにあふれた高度な学習環境を効率的に整備する
- (4) 長寿命、低エネルギーコストで、快適かつエコロジカルな学習空間を創出する
- (5) 未来の公民を育成するにふさわしい社会的施設とする

#### 3 学校施設の配置スキームの整理・学校統合による効率化

今後、町内の学校配置を二極化構造に転換していく。学校施設は、原則的に都市計画において定めるものとし、道路網、都市計画公園、用途地域などと有機的に連携した調和のとれたまちづくりを実現する。

##### (1) 二極化構造その1

現状の学校配置を見直し、東員第一中学校を二極化構造にふさわしい位置に移転・新築する。

東員第一中学校と神田・稲部・三和小学校を統合し、小中一貫校（施設分離型）とする。

##### (2) 二極化構造その2

東員第二中学校及び隣接する笹尾東小学校を統合し、小中一貫校（施設隣接型）とする。施設費の効率的運

用を念頭において、原則的に改善・増築による統廃合改善事業によって実施する。

#### 4 キップオフ事業としての東員第一中学校の移転

二極化構造の明確化・幼保小中の教育の統合化を見据え、その最初の事業として、東員第一中学校の移転・新築を行う。

移転先は東員町役場周辺のいわゆるシビックセンター地区に選定し、隣接する各種公共施設・公園との相互利用を促進することにより、教育の高度化、社会教育と学校教育との連携による公民教育の実質化、インフラ利用の効率化、改修自由度の確保による施設の長寿命化などを複合的に達成する。

新・東員第一中学校には、東員町教育施設の「ハブ校」としての役割を持たせる。傘下の小学校からの利用や様々な実験的教育の実施・研修を受け入れるものとする。

#### 5 移転事業を通して可能になる学習

##### (1) 子ども達の要請

(本当に知りたがっているものの中にエージェンシーの種がある。)

- ①現実の社会で何がおきているのか知りたい。
  - \* 少子高齢化社会で学ぶこと（介護・認知症・年金等）
  - \* 格差社会で学ぶこと（貧困、虐待、いじめ、差別等）
  - \* 共生社会で学ぶ（発達障がい、LGBT、外国人等）
  - \* 持続可能な社会（ゴミ、カーボン0、温暖化等）

##### ②生きるとはどういうことなのか。

- \* 将来自分たちはどのような社会で生きていくのか。
- \* 少子高齢化をどう生きるのか。

##### (2) 最新の事実をリアルに学ぶ必要性がある。

- ①今の高齢者は身体的にも精神的にも元気で社会を支えている事実があります。
- ②最近の障が者は地域産業や伝統文化を継承する役割を果たしている。

##### (3) 中学校の移転の意義

東員第一中学校の建設には色々なコンセプトがある。その中の一つに公民教育の実現がある。

これは、中学校を役場周辺地区に移転することで、体験的に東員町の行政・福祉・子育て・産業・まちづくり・議会の事を学び、課題を見つけ、考える教育を推進するためでもある。すなわち「エージェンシー」を育てるための環境整備の一環としての移転事業であると意義づけ事業を進めている。

令和5年4月2日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 水谷 喜和

### 研修報告書 [政務活動費充当研修]

研修期間	<u>令和4年8月19日(金)</u> 【 1日間】
目的(テーマ)	・ 田んぼアート 滋賀県甲賀市水口町牛飼 長浜市田町
参加議員名 (複数の場合)	南部 豊 大谷 勝治 片松 雅弘 伊藤 治雄 川瀬 孝代
資料添付の有無	有 ・ (無)

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

[議員氏名： 水谷喜和 ]

研修概要、内容、所感

8月19日 午前

滋賀県甲賀市水口町牛飼

うしかい田んぼアート実行委員会 代表 山田 嘉一郎  
副代表 山田 康弘

牛飼の沿革

世帯数 206 人口 506人 耕作面積 36.8ヘクタール  
農家戸数 80戸

うしかい田んぼアート実行委員会

平成19年、牛飼地区の農事組合法人「うしかい」の関係者が青森を訪れた際、同県田舎村が平成5年にスタートさせていた「田んぼアート」を知り、現地を見学。田んぼの色違いのイネを植えて絵にしていく「田んぼアート」の手法に「稲作をしているので自分たちにもできそう。車窓から眺められるようにすれば、信楽鉄道の利用客も増えるのでは」と実施の検討を始めた。

信楽鉄道は、沿線住民から強い要望と甲賀市等の支援により存続してきたが、尚も収支が厳しい状況下にある。そこで、田んぼアートを通じて信楽鉄道の利用者を増やし、地域を支える鉄道を応援するとともに、地域の活性化を図る。また、田植えや稲刈り体験をとおして、農地を耕し、種を撒き、苗をそだて、水管理などの世話をし、実りを収穫することの喜と食料の大切さを学ぶ機会を提供する。

「田んぼアート」に実施には、地元集落の各団体、甲賀市職員、JA、甲南高校の生徒一般参加者250名が参加している。子どもたちも泥まみれになって、体験を楽しんでいる。「田んぼアート」が地域づくりの核となり、地区の未来を明かしていると感じられた。

8月19日 午後

### 虎姫たんぼアート

長浜市田町 虎姫まちづくりセンター

虎姫地域づくり協議会 会長 山内 健次

事務局長 大川氏他 各部局担当者7名

長浜市虎姫地区は、おみくじの元祖といわれる角大師の誕生地があり、「おみくじ」や「開運」「厄除け」等にまつわる地域づくりが行われている。しかしながらこの地域資源を内外へ十分にPRできず「おみくじの元祖・角大師ゆかりの地」としていないのが現状である。一方、虎姫地域づくり協議会は、地域の課題を地域住民みんなで考え行動し解決する取組の一つとして、コミュニティ活動の原点である子どもから高齢者まで、様々な職業や普段交流する機会が少ない人も集うことができる「たんぼ」に着目し、たんぼを活かした地域振興を模索する中で皆が分かりやすく目標を共有できる「田んぼアート」に糸口を見出した。田んぼアートはコミュニティを強めるほかにも多世代交流、環境学習、農業対策や観覧者の来街など、多くの課題解決することができ、その題材には地元根ざした「おみくじの元祖 角大師」を用いることで年少期における郷土愛の涵養や地域資産の内外発信を図ることが可能と考える。

## 調査研究報告書

調査日 令和4年11月1日(火)～2日(水)  
一般財団法人 杏仁会 くまもと青明病院 江南病院(熊本市内)  
益城町役場

調査目的(研修目的)  
地下水膜ろ過システム現地視察研修  
災害によるライフラインの復旧について

### 参加議員

片松 雅弘 三林 浩 三宅 耕三 大谷 勝治  
川瀬 孝子 水谷 喜和

### 11月1日午後 研修

#### 病院会議室、現地施設視察研修

#### 地下水膜ろ過システムにできること

- BCP 災害時における給水ライフライン確保で事業継続性を高める
- CSR 災害時における地域住民への給水サービス貢献
- 経済性 「地下水膜ろ過システム」で公共水道料金の削減
- 水の恒温性 地下水の特徴を活かせば環境負荷軽減だけでなく、安全な水の利用

#### 地下水膜ろ過システムとは

- 水源・・・深井戸から汲み上げた地下水を、原水槽に貯留する。
- 井戸工事・・・搬入、作井工事、洗浄・検層・挿入、孔内洗浄、揚水試験、  
原水水質分析、マンホール設置、撤去・搬出
- プラント工事・・・行政申請手続き、基礎工事、プラント内工事、配管工事、電気・  
警報工事、仕上げ工事、試運転
- 給水開始・・・引き渡し、給水開始

#### 深井戸の安全性

地下水膜ろ過システムでは、地表からの汚水や生活用水などの影響をう 100m前後掘り下げた深井戸から揚水するので、地層によるろ過作用もあり、浅井戸と比べるとはるかに安全である。

## 質 問

地下水は枯れることはないのか。

不透水層以深の水量が豊富な地層より取水し、万一のリスクを回避している。

また、井戸掘削時には揚水テストを実施し、「限界揚水量」を調べ適正な取水量決定して、水枯れリスクを軽減している。

## 11月2日午前 研修

益城町役場仮設庁舎 2階会議室

断水戸数、断水機関ほどの程度か

回答 水道課

- ・平成14年4月14日の前地震及び4月16日の本震後、益城町全域11,000戸すべてで断水した。
- ・地下水を原水とし、塩素消毒のみの浄化处理のため、益城町すべての井戸の地下水で濁りが発生し、通水開始後しばらくは、飲み水以外で使うように広報し給水を行う。
- ・6月7日、町全域で応急復旧を完了。被害が大きい場所では、仮設配管を利用し給水を行った。
- ・飲料可能になったのは、最も早い配水区が4月18日、最も遅いのは5月9日であった。

前震(4/14)と本震(4/16)の職員ほどの程度できていたか

回答 水道課

- ・前震直後、水道課は対策本部と水道センターそれぞれに参集していた。混乱していた為水道課全職員が参集しているか不明であり、また、夜間であったために何もできなかった。
- ・4月15日朝は、水道センターに水道課全職員が集まり、施設点検を行った。
- ・本震後は、本震の発生も夜間であり、余震もあり、朝まで何もできなかった。
- ・4月17日朝から、水道課全職員が集まり、どこが断水しているかの全体把握の為、水道課全職員が手分けして調査を行った結果、地下水が濁っている箇所があり、直ちに町内全16か所の井戸の濁度調査を開始した。

回答 危機管理課

- ・4月15日朝8:30までに登庁した職員は、約62% (250名中の155名)
  - ・4月16日朝8:30までに登庁した職員は、約82% (250名中の205名)
- 参集できなかった理由は、自宅の全壊や職員本人や同居家族のケガ等

避難者への応急給水や、被害を受けた水道施設の応急復旧において、課題となった点

あれば教えて下さい。

回答 水道課

- ・当時の水道課全職員 8 名で応急給水班 4 名（管理係）、応急復旧班 3 名（工務班）が担当していたが、被害が広範囲の為町職員のみでは対応できなかった。
- ・自衛隊や他自治体等からの応援により応急給水を行うことができた。
- ・災害に備えていた備蓄資材（地震当時）  
非常用水袋 6 トン約 400 袋 水タンク 数個 緊急用給水栓一組  
可搬式発電機 7 台 各水道施設に自家発電設備 管路漏水修理材料
- ・備蓄資材については、全地域が被害の為数量不足であった。備蓄材料もすぐ無くなり、熊本市や県外の福岡市から借用対応した。
- ・応急復旧では、漏水箇所が多く、管種・口径・被害箇所等状況に応じて修理方法・修理材料が異なるため、材料の調達や使用数量の把握に苦労した。

熊本地震の経験を踏まえ、BCP や災害対応マニュアルは策定(改定)しましたか。また、に策定にあたって、特に配慮した点・重要と考えた点がありましたら教えて下さい。

回答 危機管理課

- ・熊本地震時は、BCP を策定しておらず、災害対応マニュアルのみ策定していた。
- ・熊本地震後策定した BCP では、地震の教訓を踏まえ、通常業務再開後にメリハリを持たせている。
- ・災害対応マニュアルについては、初動体制の強化を図るため、アクションカード

住民対応について、苦労した点や工夫した点が教えて下さい。

回答 水道課

- ・水道復旧区域については、逐次 HP 等で広報。
- ・隣接の熊本市が早く、益城町の復旧が遅れている苦情が多くあった。

回答 危機管理課

- ・臨時 FM を開局したが、周波数の周知に苦労した。
- ・中継局の被災によりアナログ防災行政無線が使用不可になり、デジタルを図るとともに、他の情報伝達手段との連携機能を強化している。